

Athle32 で何ができるの？

マット陸上競技大会運営システム Athle32 は陸上競技会を運営・記録処理するために必要なすべての処理を最小コンピューター1台から行うことができます。

■処理可能な種目・競技

- ・トラック&フィールド、混成競技
- ・障害者競技会
- ・ロードレース
- ・駅伝
- ・クロスカントリー

■処理内容

- ・プログラム編成、プログラム原稿作成
- ・競技会中の記録処理（結果出力、番組編成、得点集計、一覧表作成、記録集原稿作成）
- ・ブラウザベースの記録モニタリング
- ・計測表示機器との連動（写真判定装置、光波計測装置、フィールド電光表示盤、大型映像表示盤等）
- ・日本陸連記録公認電子申請用データ一括作成
- ・競技会後の記録処理（テキスト/GSV形式データ出力）
- ・WEB情報公開（PC版、モバイル版両対応）

※一部の機能はサーバーコンピューターや計測機器等接続インターフェースが必要となります。

Athle32 を利用した競技会運営の流れ

【競技会前】

●Athle32 用基礎データの作成（Athle32 マニュアル「データ作成編」参照）

競技会前にあらかじめ基礎データを作成しておく必要があります。競技者・所属・実施競技・大会記録などの歴代記録・組み分け・日程などの情報を Athle32 に登録します。

2通りのデータ作成方法があります。

組み分けを
Athle32 で
実施する場合

- ①マニュアルの「データ作成編」に記載されている形式のデータを表計算ソフト等で作成し Athle32 に読み込みます。
- ②番組編成で自動的に組、レーンを決定します。
- ③プログラム原稿作成—版下作成システム

組み分けを
他システムや手作業
で実施し、終了
している場合

- ①組み分けを Athle32 で実施する場合同様、データを表計算ソフトで作成しますが、その際にすでに決定している組とレーンも登録しておき、Athle32 に読み込みます。
- ②番組編成の際に「自動番組」モードを使用して組み分けするとあらかじめ指定した通りの組み分けとなります。



【競技会中】

必要部署に端末を設置して処理を実施

●記録処理 (Athle32 マニュアル「簡易編」「本編」参照)

出／欠場処理

記録の入力

次ラウンド番組編成

各種印刷物の出力 (スタートリスト、結果表、番組編成、)

対抗得点集計・印刷

決勝一覧表・記録集の作成 (Athle32 マニュアル「版下作成」、「決勝一覧表作成」)

●記録モニタリング

出／欠場、記録、番組情報、対抗得点をリアルタイムモニタリング (ブラウザ使用)

【競技会后】

●記録の後処理 (二次利用)

WEB公開用データの作成、WEB更新

記録年鑑用データ出力 (CSV形式)

日本陸連記録公認電子申請データ出力

運用－単体とネットワーク

マット陸上競技大会運営システム Athle32 はコンピューター1台で運用する「単体」モードと、サーバーにデータを置き、それを複数台のクライアントコンピューターで参照して運用する「ネットワーク」モードがあります。

単体モード : 1台で運用します。データは自身のコンピューター内に保存します。
基本フォルダはC:\\$\$\$\$です。「\$\$\$\$」は陸上競技システム用のフォルダです。
競技会前のデータ作成、プログラム作成、競技会後のデータ参照などに使用します。

ネットワークモード : サーバーにデータを置き共有します。
サーバーの共有フォルダを「x」という名前で共有し、クライアントからそのフォルダを「ネットワークドライブの割り当て」を利用して自身の「Zドライブ」に割り当てて使用します。競技会ではこのモードを使用します。

陸上システムでは、「MASTER系」「ENT系」「REL系」「PROG系」「TOKUTEN系」の5つの系統のデータで構成されています。単体モードではこれら全てが自身のコンピューターから実行・参照されますが、ネットワークモードでは「MASTER系」のみサーバーから自身のコンピューターにデータをコピーして (マスターコピーといいます) 使用します。残りの4種類はサーバーのデータを直接使用します。



■単体とネットワークの切り替え

前項で解説した4つの系統のデータをどこに保存するか、その保存先を変更することで、単体、ネットワークを切り替えることができます。

- 1) 陸上システムメインメニューから《システム・メンテナンス》をクリックし、パスワードを入力して《OK》をクリックします。

ショートカットキー
【F5】システム・メンテナンス



【1】 + 【Enter】
MKRCONF大会設定

- 2) 《1. MKRCONF大会設定》を起動し、プリセット (▼) から単体モードにしたい場合は「単体*」、ネットワークモードにしたい場合は「ネットワーク*」を選択して《呼出》ボタンをクリックし、ディレクトリ表示 (黄色の部分) の内容が変わったことを確認して《設定》ボタンをクリックします。



*プリセット名はコンピュータによって異なります。呼出ボタンをクリックして表示された内容が、これからデータを作成しようとしているフォルダであればOKです。

例) 基本単体のディレクトリ
 マスター系 C:¥¥¥¥MAST¥
 ENT系 C:¥¥¥¥ENT¥
 REL系 C:¥¥¥¥REL¥
 PROG系 C:¥¥¥¥PROG¥

例) 基本ネットワークのディレクトリ
 マスター系 C:¥¥¥¥LAN_MAST¥
 ENT系 Z:¥ENT¥
 REL系 Z:¥REL¥
 PROG系 Z:¥PROG¥
 ※ネットワークドライブの割り当てドライブを「Z」にしている場合の例
 ※単体で作成していたデータが消えることはありません。

■コンピューターを起動すると...

クライアントコンピューターを起動すると以下のような画面が表示される場合があります。



コンピューターが起動すると常時「ネットワーク」で使用することを前提としているコンピューターには自動的にマスターコピーがかかる仕組みになっています。そのためネットワークに接続していない場合や単体モードになっているときはマスターコピーができないため、このような表示が出ます。陸上競技システムをネットワークで使用するとき以外は【OK】ボタンを押してこの画面は終了させて下さい。



運用クライアントコンピューターのサーバーへの接続

Windows コンピューターはイーサネットや無線 LAN により TCP/IP を使用してサーバーに接続することができます。

・サーバーへの接続

Windows コンピューターは TCP/IP の設定を IP アドレス自動取得に設定することで DHCP サーバーより IP アドレスを自動的に取得します。

・ネットワークドライブの割り当て【ブラウザ参照の場合はこの作業は不要です。】

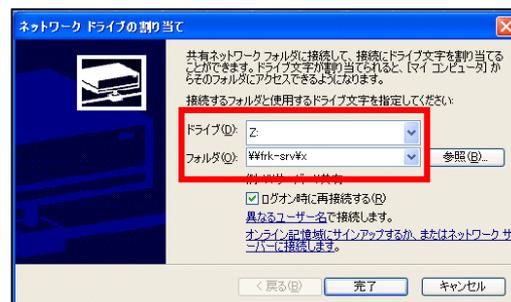
1) 【マイコンピュータ】を右クリックし「ネットワークドライブの割り当て」を選択します。

2) 以下のようにサーバーのフォルダを指定してください。

ドライブ Z:

フォルダ ¥¥サーバー名¥¥

3) 「ログオン時に再接続する」にチェックを付けておくと、次回起動時にはこの接続を記憶しているためこの作業は不要となります。



・接続可能ユーザー【ブラウザ参照の場合はユーザーは不要です。】

ネットワークドライブの割り当てにはユーザーがサーバーに登録されている必要があります。

どのユーザーで接続が可能なのか確認してください。

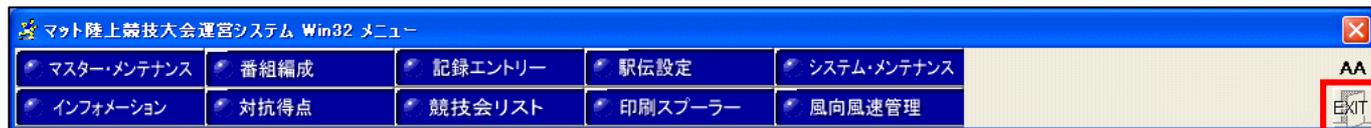
・ブラウザによるデータ参照

サーバーコンピューターには Internet Explorer などの WEB ブラウザで記録等を参照できる場内 WEB システムが搭載されています。WEB ブラウザのアドレス部分に「http://サーバー名/athleweb/」と入力すると記録や番組情報を参照することができます。詳しくは操作説明書を参照してください。

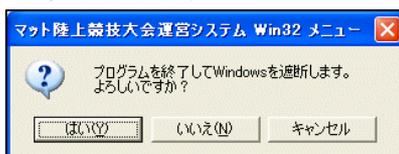
(このシステムを利用する場合はネットワークドライブの割り当ては不要です。)

Athle32 の終了とクライアントコンピューターの終了

陸上システムを終了するには、メニュー右端にある【EXIT】ボタンをクリックする。



このとき陸上競技システム権限がフルコントロール（上図のようにすべてのボタンが付いている状態）コンピューターは Windows を終了するかどうかの確認メッセージが表示されますので、【はい】をクリックしてください。自動的に Windows が終了します。



※自動的に Windows を終了したくない場合はここで【いいえ】を選択するか、【Ctrl】 + 【Shift】 + 【F12】キーを一度に押すことで陸上システムメニューだけ終了することができます。

